

令和3年県議会第1回定例会 一般質問報告

2月24日、県議会本会議で一般質問をしました。

小田原市や県西地域全体に的を絞った内容です。以下は知事答弁等の概要です。

動かす！ 変える！

1 県西地域活性化へ向けたワーケーションの推進を

知事 市町や民間と共に、仕事、宿泊、余暇等各面から企画し、働く

世代や企業に売込む。地域の関係人口増や二地域居住、移住につなげ、県西地域活性化を図ります。



「小田原市いこの森」キャンプ場でのワーケーションの様子

2 県西地域の医療提供体制の確保について

知事 県西地域は小田原市立病院と県立足柄上病院が核となり、人口減と高齢化の進む広域の医療を担う。そこで国の基金を最大限活用等して、小田原市立病院の建替え、再整備を支援していきます。

3 新生児聴覚スクリーニング検査について

健康医療局長 先天性の聴覚障害は適切な支援により将来への影響を低減できる。県は多面的に新生児の聴覚検査を推進していきます。

おざわ 全国平均より県の受検率は低い。生まれた地域や病院により子供の将来に大きな差が出てはならない。受検率100%の早期達成を強く要望します。

4 神奈川と静岡の県境をまたぐ「伊豆湘南道路」の計画について

知事 昨年度「県計画」に位置づけ、沿線市町や静岡県等と国へ促進を要望。今年度国の補助事業として新規に採択されルート検討等進めてきた。今春にも多分野の学識者委員会を組織、ルート等を決定。早期具体化に向けて取り組みます。 ※読売新聞報道参照

5 小田原市東町地区の越波対策について

環境農政局長 東町海岸の海底は特に勾配が急で人口リーフ工法が難しい。現在、地形把握のため測量調査中。来年度、有識者等で有効な対策を検討し、越波対策を着実に進めます。

6 県内産水産物の販売促進に向けた漁協の基盤強化について

(知事答弁省略)

7 小田原地域の二ホンザル被害対策について

(知事答弁省略)

2021年(令和3年)2月25日(木曜日)

読売

青

提言が実現

「伊豆湘南道」で検討委

ルート選定へ県、静岡県今春にも

黒岩知事は24日、県西地域と静岡県伊豆地域を結ぶ「伊豆湘南道路」建設に向けて、ルートを検討する学識者らによる委員会を、今春にも静岡県と共同で設置する方針を明らかにした。同日の県議会本会議で、小沢良忠議員(自民党)の一般質問に答えた。

2月25日の読売新聞に、おざわ県議のライフワーク「伊豆湘南道路」の質問が、大きく報道されました。

市町と連携し、計画の早期具体化に向けてしっかりと取り組んでいく」と強調した。

酒匂川洪水対応演習

去る5月、2日間にわたり、県と小田原市他関係市町等により、酒匂川上流の三保ダム事前放流と流域の異常洪水時防災対応演習を実施。これは愛媛県肱川(ひじかわ)ダム放流による大災害を受けて、平成30年9月のおざわ県議の一般質問への知事答弁等により実現したものです。



三保ダム

ニホンザルH群の捕獲

小田原市片浦、早川地区で行動するニホンザル「H群」による農業、生活被害等に、長年追払いや捕獲等対処してきたが、近年人身被害等が増加。そこでおざわ県議の去る2月の一般質問への知事答弁もあり、令和3年度からH群を「管理困難な群れ」とし、全頭除去を目標の捕獲が決定されました。地域の被害が一日も早くなくなることを望まれます。

令和3年県議会第1回定例会 予算委員会

3月17日、予算委員会で次の質問をしました。おざわ県議の主要質問の概要を紹介します。

① 県水防災戦略の取組みと酒匂川堆積土砂対策について

- 酒匂川総合土砂管理プランの近年の実績と令和3年度の予定は。
 - 飯泉取水堰付近の堆積土砂の対策は。
 - 狩川の令和3年度の堆積土砂対策の取組みは。
 - 地元への計画的な説明と周知は。
- 要望** 酒匂川や狩川等の堆積土砂対策は、県民の生命と財産を守る重要な取組み。コロナ禍でも緩めず進め、地元住民や自治体等との連携や広報にも意を配り、前向きな取組みを強く要望します。

② 県立特別支援学校の医療的ケアが必要な児童・生徒等の支援について

- 増加傾向にあるケアを必要とする児童・生徒数は。
 - 日常生活や看護師の配置、通学支援等の社会生活の支援制度は。
- 要望** 高度化した医療的ケアに対応する支援体制を進め、安全安心のために関係機関との連携や保護者の負担軽減等にもしっかりと取り組んでほしい。

県立小田原養護学校



③ 県西地域の活性化について

- 「県西地域活性化プロジェクト」を推進中だが、成果と課題及び今年度の改定は。
 - 移住、定住の促進への県の取組みは。
 - 県西地域への企業誘致に今後どう取り組むか。
 - テレワークの環境整備費用の一部補助制度を創設したが、活用状況は。
 - 県西地域の今後の道路整備の予定は。
- 知事** 交通至便で自然環境豊かな神奈川県西ライフを目指す姿として掲げ、コロナ禍の中の社会変化を追い風に、移住、定住への取組みを拡充し、県西の更なる活性化を図ってまいります。



令和3年県議会第1回定例会 建設・企業常任委員会

3月2日、19日の両日、建設・企業常任委員会で副委員長として、小田原市や県西地域の課題を質問。県当局の答弁概略とおざわ県議の要望のみ紹介します。

令和3年3月2日

① 小田原海岸の養浜について

要望 砂浜の減衰状況の経年変化や海底調査等を重ね、漁業者や地元の皆さんとよく相談、調整の上進めてほしい。

② 従来の治水対策から流域治水への転換について

- 県答弁** 治水対策は国や県主体だったが、流域治水は、流域のあらゆる関係者が協働して、氾濫防止や被害軽減対策に以下の3点から取り組む新しい考え方。
- 堤防や遊水池整備等の施設整備やダム事前放流の適正化等。
 - 被害想定区域の土地利用規制、移転誘導・宅地かさ上げ等被害対象の減少化。
 - 災害復旧、復興の加速化対策として、洪水ハザードマップ、住民避難体制の強化、水位計や監視カメラの充実等。

③ 流域治水プロジェクト(省略)

令和3年3月19日

① 綾瀬スマートインターチェンジについて

要望 地域住民から周辺道路の交通渋滞が不安視されている。開通後の整備効果の検証と万全な対応を望みます。



現地視察

② 南足柄市～箱根町連絡道路事業の促進について

要望 県西地域の経済活性化、観光振興はもちろん、災害時の代替ルートとしても寄与する。4月28日の開通へ向けて着実な工事推進をお願いします。